862
1

漂流人善助初次郎口書写

国立国会図書館　タイトル『漂流人善助初次郎口書写』　請求記号 862-1

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『漂流人善助初次郎口書写』 請求記号 862-1

ガラス使用

862
1

漂流人善助初次郎口書写

82

国立国会図書館　タイトル『漂流人善助初次郎口書写』 請求記号 862-1

ガラス使用

862-1
(82)

漂流人口書

紀伊殿領分
紀伊國牟婁郡口熊里
國系見滿
百姓名五郎伴
永住丸沖船頭
善助
辰二十七歳
禅宗
御名領分
阿波國板生郡 [illegible]村
百姓市五郎伴

国立国会図書館　タイトル『漂流人善助初次郎口書写』　請求記号 862-1
ガラス使用

同船乗之
初太郎 歳二十四歳
真言宗

善助初太郎申上候私共儀去丑年八月摂州兵庫西
之宮内町中村屋伊兵衛より奥州南部江下り酒六十
樽綿百丸砂糖三十樽塩五千俵余百弐拾箇余伊勢
屋持之船千石積弐拾八反帆永住丸江積込船頭手下請
善助沖船頭役初太郎其外之者共ニ楫取伊勢国松
山之事之助其外之水主同国風呂村勘次郎同国佐知子之惣
助儀三郎陸奥国南部久右衛門要蔵紀伊国熊野

国気仙郡浦村弥市播磨国東新町村楫取岩松阿波国
撫崎村太三郎伊豆国大島要蔵同国下田吉蔵炊陸奥
国南部宮崎三平都合十三人組合乗人数人江
請状取置候而摂州沖ニ而逆難風ニ罷致候同廿六
日ニ出帆同九月十九日奥州南部江着船請書
差請取積荷同十月十二日奥州イヌボウ崎沖ニ而
越前国船頭多分同所ニ而成候間風吹出シ御届
儀ニ大風ニ相成海上暮時御請候同十二日
大風ニ相成船ハ損ヶ成難儀ニ相成候共楫折
郎綿武取候而夜ニ入候共致候及難船仕候塩五

国立国会図書館　タイトル『漂流人善助初次郎口書写』　請求記号 862-1

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『漂流人善助初次郎口書写』　請求記号 862-1

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『漂流人善助初次郎口書写』　請求記号 862-1

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『漂流人善助初次郎口書写』　請求記号 862-1

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『漂流人善助初次郎口書写』　請求記号 862-1
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『漂流人善助初次郎口書写』　請求記号 862-1

ガラス使用

同上陸以て此処直に百日八百程之門掛て敷ゆるに為に
重ね敷ゆるに付ありし者同道にて内へ入る処屋根は屋直にて
し十五日八寒に百二処有し縁ゆるも有し藤子に取見へ何しも
土百にて前縁を変役人作之者人数ゆ見て此土人作者服
同様にて女老人見る処数に三ツ打て段衣類は前書同様にて
お立派に取見へ者ゆ船頭ゆ向れ戸談又に私共為人私
頭付源町ゆ続し処を通り凡拾貳丁程余処百日六百程
之所へ案内いし奥り四百程も有し基処服四季変位
土百へ縁ゆを出し有し人体見れ同様
者二人此土内三人は頭仕作に取見へ服も薬様に見し取は

長サ三尺幅三尺程之足付基へウニサイし様成形を変
ゆゑ打却其為ゆ相れ積立有し日数七日程頭迄ゆ処同
十一月中旬ゆ迄ゆ者は百三人作之者ゆ内百仕作之者三人主
人為人にて同道町前四丁程余り濱迄へ出し処長サ拾六百程横
四百程にて黒又は青色に塗て船頭ゆ土帆拾大小貳本にて白木綿
之帆を掛有し無稀様多き以ゆしし大ゆ無縁ゆ処船頭作
之者三人多く作之者八人此土人作者ゆ同様にて直に出
帆いし西之方へ向走無程地方は不相見私共為人へ屋取帆
縄を為り又は帆綱をよし也其所動き命ゆ以し方様之仕
事を為段今日ゆ一日に為度発にて白大豆に塩を入賛又は麦蕊

国立国会図書館　タイトル『漂流人善助初次郎口書写』　請求記号 862-1
ガラス使用

國へ漂流いたしかれ粉物等を生活に漂流之後あれ嘲あつこ
人一同に其成唐國官浦へ送り屋ハ成業也致病死ハ如来
惣る強之氣ハ立方通ニ生ハ其物成ハ立之通異國船ニ其生
初者即是人端船ニ乃上陸ハ致ハ故此事厳科ハ故と致心痛
あ船ニ有之ニ遍ニ致日繋り居日ニ船損不繕ハ之手傳ハ致
其生唐ニ送方之事追之致仕方ハ其事ハ不同年二月下
旬日ハ見端船ニ乗せ其事ハ依之者同船ニ或十町程乗り長
五丁程もまつ海岸ハ致上陸ハ之者ハ業門ニ漂手五丁程
乗り居人家ハ三千軒もまつ村様ハ処ハ出ハ百八百程し
見普し家ハ致業門ハ人ハ処奥行五百程し家ニ

入口ニ茶碗等ハ積立ニ人体ハ服其ハ人同様ハ者
其生又ハ庵人ハ也ハ坊ニ頂ニ数を測ニ行ニ以し濟
へ下ケ本線筒袖ニ其物を其段引し也ハ紀様ハ其物を其
或ハ其服同様ハ既ニ縁ハ数を書ニ者も同居以し様
子ニ其ハ者ハ同居以し其生今日ハ其を然を茶ニ粥宜
夕ハ米ニ飯茶ハ大根菜ハ見別魚野醤油煮ニ以し長サ
三尺四方位ニ高サ弐尺程ニ足付し甚ハ大ハ者を茶碗井四郎
ニ盛り指出庵人と一同給日五の十日程も逗留其生入口ニ
積立ニ不ハ商物ニ様子ニ庵人体ニ者買夜ハ様子ニ来ル
同四月上旬船ハ体ニ者庵人船と強ハ人漂流を指出ハ

国立国会図書館　タイトル『漂流人善助初次郎口書写』　請求記号 862-1

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『漂流人善助初次郎口書写』　請求記号 862-1
ガラス使用

八人共生ニ而ニ月ニ七人ハ初ニ郎ニ而ニ先達ニ而別ニ後ニ如
来嘲合ニ而七人ニ者ニ生ニ変并漂流ニ次第ニ互ニ承合
其後日ニ覚ヘ重キ役人法達ニ而ニ而越ニ相通辞ニ庚人
ニ而同人ニ案内ニ而所程ニ而ニ而左側ニ麻付ニ門ニ
之内人ニ而見着ニ而ニ八ニ変信ニ者ニ居ニ奥ニ方
ニ麻ニ居ニ役人ニ而ニ庚人ニ七人ニ机ニ能ニ共生重キ役人
仰ニ者ニ帽子ニ被リ帽子ニ頭ニ玉并素キ糸ニ付ニ有ニ紋繻
子ニ筒袖ニ而用ニ以ニ下役仰ニ者ニ左右ニ拾人程ニ立共生通
辞庚人通并ニ漂流ニ訳ニ有ニ紀ニ生処并漂流ニ如来ニ
ニ立ニ有ニ漂流ニ帰ニ処同月日ニ覚ヘ并ニ而初ニ郎ニ者人ニ付就

具ニ者ニ毛綿蒲団ニ者ニ同縁人ニ者ニ皆ニ是ニ以ニ致世話ニ
庚人ニ於ニ送ニ而ニ也ニ通辞庚人ニ有ニ度ニ而ニ并貴文ニ其ニ而ニ
者人ニ共ニ浦逗留中ニ并ニ有ニ度ニ如来ニ而ニ不ニ共ニ想ニ也ニ有ニ具
ニ者ニ共ニ而ニ通ニ而ニ
長ニ郎ニ具ニ者ニ
漂流人長ニ郎ニ口同年ニ共ニ年ニ
一同年閏七月十二日漂流日本人弥ニ氣想也初ニ郎同
九月十日漂流日本人善助追ニ大陽ニ送越ニ有ニ出通辞
庚人致案内私共一同指定ニ者ニ生変并漂流ニ訳追
ニ而処弥ニ氣ニ能ニ至同皆月村想也ニ同国ニ与村ニ者

国立国会図書館　タイトル『漂流人善助初次郎口書写』　請求記号 862-1
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『漂流人善助初次郎口書写』　請求記号 862-1

ガラス使用

862
1

と水煮に以て鶯沙を付給ふを見て文同年十二月三日長崎
若船佐安法以味弁相函ニ而指差出内ニ而御家庭病
相煩小便不利段腰満ノ手薬用ニ厚ク法療治ニ仰
付ニ御此私共段分相ニ候ても相早ク

弘化二巳年二月 傳寫

帰耕堂

国立国会図書館　タイトル『漂流人善助初次郎口書写』 請求記号 862-1
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『漂流人善助初次郎口書写』 請求記号 862-1

ガラス使用

862
1

国立国会図書館　タイトル『漂流人善助初次郎口書写』 請求記号 862-1

ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『漂流人善助初次郎口書写』　請求記号 862-1

ガラス使用